

## ⑥0 地域連携道路整備事業（大沢～津軽石工区）

受賞機関 岩手県 沿岸広域振興局 土木部 宮古土木センター

**キーワード** 復興関連道路、緊急輸送路

### 全建賞審査委員会の評価ポイント

重茂半島を周回する唯一の道路であり、主要産業である水産業の物流ルートであるとともに、沿線住民の生活道路としても重要な路線の整備。橋梁下部工事で竹割型土留工法を採用するなど、自然改変を最小限にする取組が行われている点が評価された。

### 1. はじめに

岩手県の重茂半島は本州最東端に位置しており、水産業が大変盛んな地域である。

主要地方道重茂半島線（以後、県道）は、この重茂半島を周回する唯一の道路であるが、東日本大震災では、道路が複数箇所寸断され約1,850人が長期間孤立した。

これを受け、県では平成23年度に県道を復興関連道路に位置づけ、震災時に寸断された7工区を新規事業化する事で、東日本大震災と同規模の津波が発生した場合でも浸水しない道路になるよう整備を進めた。

### 2. 事業の概要

県道は、迂回路が無く、東日本大震災では避難路や救援物資の輸送路として使用したことから、2車線確保し、宮古市及び山田町の復興まちづくり（高台移転等）と整合した道路にした。



平成31年3月16日熊の平～津軽石工区パレードの様子

事業推進にあたっては、地権者様のご理解と県道のご起終点である一般国道45号管理者の三陸国道事務所様のご指導及びご支援を受け、順調に進める事が出来た。

また、職員の不足についても、長期間応援に来て頂いた長野県職員様の厚いご支援と発注者支援業務の活用により対応した事で、平成29年12月28日に1工区目の供

用を開始し、令和2年12月28日には全7工区で供用開始が出来た。令和3年1月23日には完工式を行った。



令和3年1月23日全7工区完工式の様子

### 3. 事業の成果

令和元年東日本台風の際には、重茂半島では観測史上最大の大雨が観測され、整備前の県道で橋梁の流出や道路崩壊が多数発生したが、整備を進めていた7工区が自衛隊の緊急輸送路に使用出来た事で、地域の孤立期間の大幅短縮につながり、地域の安全確保に大きく貢献出来た。



令和元年10月17日 自衛隊の移動の様子

### 4. おわりに

令和3年1月8日には、県道沿いに食堂・直売所を備えた重茂水産体験交流館「えんやあどっと」がオープンした。今後ますます、重茂地域の水産業が発展していく事が期待される。

**賛助会員** (株)奥村組、オリエンタル白石(株)、鹿島道路(株)、(株)建設技術研究所、大日本土木(株)、(株)福山コンサルタント、(株)フジタ、(株)復建技術コンサルタント、矢田工業(株)